


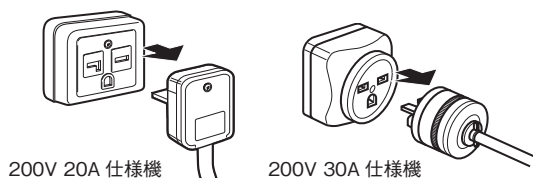


9 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

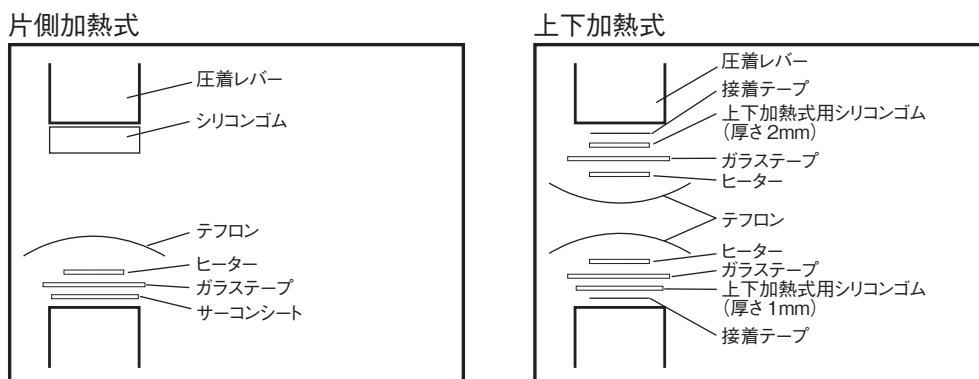
-  **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてから行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
-  **警告** 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります
-  **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で作業を行ってください。

シール部の構造

シール部は下図の部品から構成されていますので部品の交換の時は順番を間違えないように正しく取り付けてください。



部品の販売単位

部品は長時間の使用で損傷し、シール状態が悪くなってきます。傷んだ部品を続けて使用すると故障の原因となりますので予備品を手元に置かれ適時交換してください。

部品は下記表の発注単位で販売しています。

製品名・品名・数量を明確にご指定の上、本機をお買い上げになられた富士インパルス取扱店へご注文ください。

部品名	販売単位
テフロン	1 セット 2 枚
シリコンゴム	1 本
樹脂ナット(白)	1 セット 5 個
ガラステープ	5 M巻または 10 M巻 (25mm 幅) 1 巻
サーコンシート	1 セット 2 本または 5 M巻 1 巻
ヒーター (5、10mm 幅とも)	1 セット 10 本または 20 本
上下加熱式用シリコンゴム	1 セット 2 本
電極 (800,1000,1200 型用)	1 セット 2 個
電極 (1500 型用)	1 個

9-1 テフロンのずらし方

【必要物】 ハサミ

【交換の目安】 テフロンが変色し、袋がハガレにくくなった。テフロンが破れたり、焦げてシールが汚い。

- ・テフロンが傷みましたらヒーター上部にテフロンの新しい面が来るようにテフロンを前へずらして(引き出して)ください。
- ・テフロンがヒーターにひっついている場合、端からていねいにはがしてください。
- ・テフロンは予備として 25 ~ 30cm テフロン巻取棒に巻いてあります。残り少なくなった場合は、「9-2 テフロンの交換方法」をご覧くださいテフロンをシートごと交換してください。

- 1 テフロン押え金具を固定している4個の樹脂ナットを緩めます。(右イラストを参照ください)
- 2 テフロン巻取棒をまわし、傷んだテフロンを前後どちらかに 15mm 程巻きます。
- 3 テフロンのたるみがないように、テフロンを巻取り、テフロン押え金具を1で緩めた樹脂ナットで固定してください。

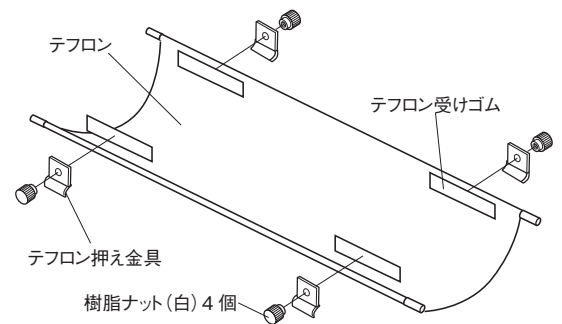
9-2 テフロンの交換方法

【必要物】 ハサミ、セロハンテープ

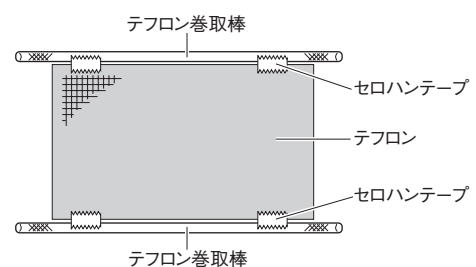
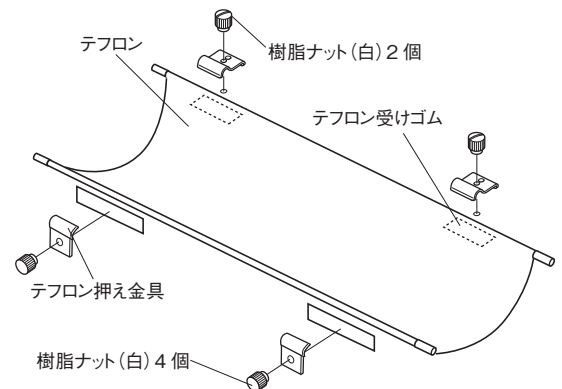
【交換の目安】 予備のテフロン(テフロン巻き取り棒に巻きつけてあるテフロン)がなくなった時

- 1 「9-1 テフロンをずらし方」をご覧ください、テフロン押え金具を固定している4個の樹脂ナットをはずします。
- 2 テフロン巻取棒を取り、古くなったテフロンをはずします。
- 3 テフロン巻取棒に新しいテフロンをセロハンテープなどを使って貼り付けます。(右イラストを参照ください)
- 4 テフロンをどちらか一方のテフロン巻き取り棒に巻き取ります
- 5 テフロン巻取棒を取付け、1ではずした4個の樹脂ナットで仮止めをします。
- 6 テフロンがヒーター上部でシワにならないようにテフロン巻取棒を回します。
- 7 4で仮止めした樹脂ナットを回してテフロン押え金具を締付けテフロン巻取棒を固定します。

■ 上下加熱式の圧着レバー側のテフロン部



■ 片側加熱式、上下加熱式のシール受け板側のテフロン部

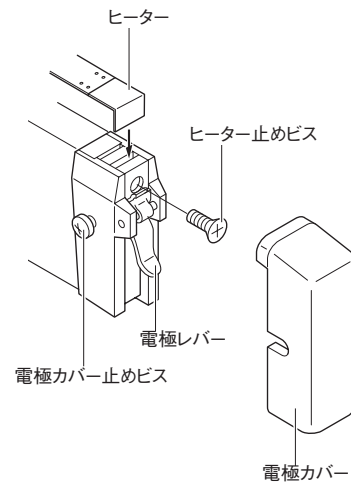


9-3 ヒーターの交換方法：(対象：シール長さ 600、800、1000、1200mm タイプ)

【必要物】 プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、シールが汚い、シール面に凸凹が発生した

- 1 ヒーターはテフロンで覆われています。「9-1 テフロンのずらし方」をご覧くださいテフロンをはずしてください。
- 2 プラスドライバーで電極カバー側面のビスを緩め、電極カバーをはずしてください。
- 3 電極レバーを(上側のヒーターの場合)下方向、(下側のヒーターの場合)上方向に起こし、ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めてください。
- 4 ヒーター止めビスを緩めると傷んだヒーターが取りはずすことができます。
- 5 電極レバーを(上側のヒーターの場合)下方向、(下側のヒーターの場合)上方向に起こしたまま新しいヒーターを電極の溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押えながらヒーター止めビスをしっかり締めた後、電極レバーを(上側のヒーターの場合)上方向、(下側のヒーターの場合)下方向に戻してください。



注意 安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取付けてください。
交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。

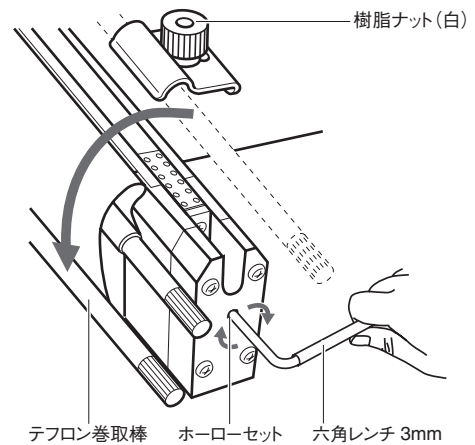
9-4 ヒーターの交換方法：(対象：シール長さ 1500mm タイプ)

【必 要 物】 プラスドライバー六角レンチ 3mm

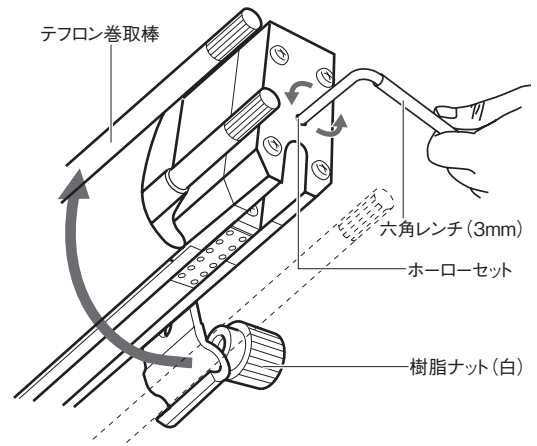
【交換の目安】 ヒーターが切れた、シールが汚い、シール面に凸凹が発生した

- 1 ヒーターはテフロンで覆われています。テフロン巻取棒を固定している2個の樹脂ナット(白)を緩めて、ヒーターが見えるようにテフロン巻取棒をシール部の手前に持ってきてください。
- 2 両側にある電極のホーローセットを六角レンチで右側にゆっくりと回して、ヒーターを弛ませてください。

片側加熱式、上下加熱式の受け板

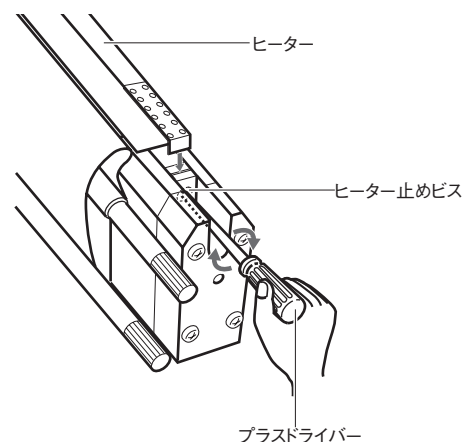


上下加熱式の圧着レバー



- 3 ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めて、ヒーターを取りはずしてください。
- 4 新しいヒーターを電極の溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押えながらヒーター止めビスをしっかり締めて、ホーローセットを六角レンチで右側方向にゆっくり回してヒーターが張った状態に戻してください。

注意 交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。



9-5 ガラステープの交換方法

【必要物】 ハサミ、プラスドライバー、アルコール(エタノール)など

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い

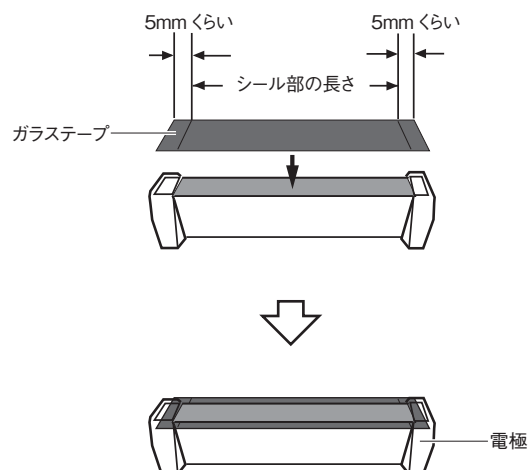
注意 ヒーター下部のガラステープが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください。

- 1 テフロン、ヒーターを取りはずしてください。
- 2 ヒーター下部のガラステープをきれいにはがしてください。

注意 粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起こしますので粘着のりをきれいにアルコール(エタノール)で取り除いてください。

- 3 ガラステープの両端が電極に5mm ずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。

注! ガラステープ交換の際に、サーコンシートの貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにサーコンシートも交換してください。



9-6 サーコンシートの交換方法：(対象：片側加熱式)

【必要物】 ハサミ、プラスドライバー、アルコール(エタノール)など

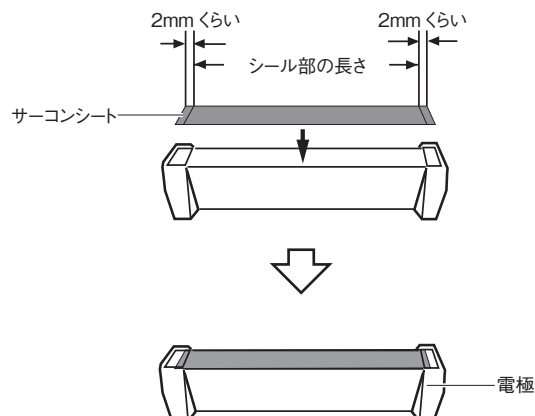
【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い

- 1 テフロン、ヒーター、ガラステープを取りはずしてください。
- 2 ヒーター下部のサーコンシートをきれいにはがしてください。

注意 ヒーター下部のサーコンシートが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください。

- 3 サーコンシートの両端が電極に2mm ずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。

注意 粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起しますので粘着のりをきれいにアルコール(エタノール)などで取り除いてください。



9-7 シリコンゴムの交換方法

【必要物】 アルコール(エタノール)

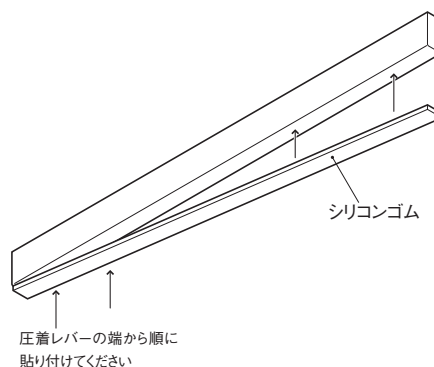
【交換の目安】 シリコンゴムの表面が凸凹になっている。

- 1 テフロン、ヒーター、ガラステープを取りはずしてください。
- 2 シリコンゴムをはがし、粘着のりはアルコール(エタノール)できれいにふきとってください。

注! 粘着のりが残っている状態でシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません

- 3 新しいシリコンゴムには、粘着テープがついています。剥離紙を外し、端から順に貼ります。

注! 上下加熱式の場合、圧着レバー(2mm)とシール受け板(1mm)でシリコンゴムの厚みが違います。



9-8 チューブの接続・離脱

配管チューブを抜き差しするときは、エルボ継手の開放リングを指先で押しながらチューブを抜いてください。

チューブの離脱

チューブを押し込みながら開放リングを平行に押すと、より容易にチューブを引き抜くことができます。

チューブの接続

チューブ装着時には、継手のチューブエンドまで完全に差し込んでください。

